

平成18年度事後評価結果（平成18年11月）

[研究開発課題名] 大規模コーパスベース音声対話翻訳技術の研究開発

[委託機関名] 株式会社国際電気通信基礎技術研究所

項目	評価	総合所見
総合所見	A	<p>(技術関係)</p> <p>いずれの技術開発も実証をともなった成果が示されており、高く評価できる。全体としてのシステムのプロトタイプについても、現実的使用環境にほぼ匹敵する場所での実証実験がなされており、実用に耐えうる程度の完成度を達成していることが示された。よって、総合的に見て、目標を十分満足する研究開発となっていると考えられる。今後のシステムの拡張、対象領域の変更、新しい言語対への対処に対し、効率的な手法を得ることが今後の課題として残されている。</p> <p>(事業化関係)</p> <p>研究開発成果を「旅行会話音声翻訳サービス（海外旅行者、訪日外国人旅行者、旅館・ホテル、タクシー、観光施設・自治体、飲食店）」、「外国語学習サービス（個人・法人利用、学校利用）」、「語学能力開発サービス」「音声翻訳電子辞書の販売」「音声コンテンツクリーニングツール」の5製品・サービスとして事業化する計画である。リスク分散の観点からも、潜在需要の幅広い喚起という点からも妥当な計画であり、テキスト翻訳に加えて音声翻訳機能を追加していることから一定の市場シェアを獲得することが期待される。</p>

(注) 総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しています。